

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第823号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)
●発行日—令和8年(2026年)8月1日
●発行所—札幌市中央区
〒060-0002 札幌市中央区
北2条西7丁目かでの2・7(4F)
電話 011-251-0855
FAX 011-251-0804
Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp
●発行人—佐藤春光
印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

令和8年度 事業所協議会総会開催(6/20 かでの2・7)

～会員相互の顔の見えるつながりで知恵を出し合おう

会場15事業所23名、オンライン17事業所35名参加

令和8年度定期総会を終えて

6月20日(土)、北海道手をつなぐ育成会事業所協議会の令和8年度定期総会が、かでの2・7で開催されました。会場には15事業所23名、オンラインでは17事業所35名の参加がありました。

開会にあたり

門内勇治会長から、本協議会や北海道手をつなぐ育成会のこれ

までの歩みに思いを馳せながら、障がい者福祉や事業所を取り巻く現状の課題に触れ、「この

ような時こそ、会員の皆様と共に知恵を出し合い、障がいのある方々が住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる社会を守り抜かねばならない」とい

う力強い決意の言葉がありました。続いて、オンラインで参加された全国手をつなぐ事業所協議会の松崎伸一理事長より、来年の報酬改定について、

「この間『障害福祉サービス事業の総費用が膨れ上がった』ということばか



あいさつをする
門内会長

りが指摘されているが、そこには現行制度の『歪み』が根底にあり、規制緩和による営利企業の参入で不正・事件等の続発により、真面目に取り組んでいる事業者までを含めて問題視されるのは、全く納得できないことである。これらの課題を踏まえ、全国事業所協議会では、現場の切実な声がしつかりと反映された改定となるよう国に要求していきたくと考えている。全国にいる会員の皆様と協力して、より良い利用者本人のための制度の実現に向け協力をしながら取り組んでいきたい。」とのメッセージがありました。

その後、議長に選出された服部洋子さん(札幌市手をつなぐ育成会)の議事進行のもと、令和7年度事業報告及び収支決算報告から令和8年度事業計画、収支予算までの全ての議案が滞りなく、温かい拍手をもって承認されました。



議長の服部さん

事業計画の審議の中では、参加者から「事業所の運営が厳しい現状や、虐

待問題を含め、事件や事故等の生じる根底には構造的な課題や制度の問題があるのではないかと。事業所の経営や運営、良い支援をするために研修等を実施することは大切なことであるが、それだけではなく、事業所協議会としてこれらの問題をしっかりと掘り下げ、行政に対して毅然と行動を起こしていくことも必要なのではないかと思う。」といった意見や、「単に報酬改定や処遇改善をどうするかだけでなく、いろいろな面にメスを入れていかなければ問題は解決しない。そういうところから今年度はぜひ一度でもいいから皆で検討する機会があればいいと思う。」等の意見がありました。

本総会を終え、これからの事業所協議会の果たすべき役割はますます大きくなってきていると感じました。門内会長を中心に我々役員も一丸となつて、皆様とともに協議会を盛り上げていく所存です。これからどうぞよろしくお願いいたします。

事業所協議会副会長

社会福祉法人 道南福祉ねっと

統括管理長 高橋 雄介

全道大会登別大会

参加申込締切り間近
8月14日17:00まで
ネットからの参加申込は
こちらから↓



「就労支援事業所の役割」

新冠ほくと園 成田 英司 氏

事業所協議会総会後に、オンライン併用で研修会を開催し、会場・オンライン合わせて58名が参加。「就労支援の考え方と実践」、「地方にある就労支援事業の地域共生への役割と実践」について、講演をしていただきました。

社会福祉法人新冠ほくと園統括施設長の成田英司氏による講演は、障害のある方々が地域で誇りを持って生きるための具体的な手法と哲学に満ちたものでした。成田氏が福祉の道を志した原点は、サラリーマン時代に経験した奥尻島地震の災害派遣にあります。極限状態の中で人の役に立つ仕事の尊さを痛感した成田氏は、以来32年にわたり現場の最前線を走り続けてきました。



講師の成田氏

新冠ほくと園の理念は、「あなたの笑顔、満足、幸せの創造」です。成田氏は支援者の専門性を、利用者の一日一つの笑顔を獲得すること、すなわち一日一笑と定義しています。この哲学を具現化するための独創的な取り組みが、「にいかっぶかれっじ」です。高校卒業後の四年間を自立訓練と就労移行支援に充てるこのプログラムでは、指示に従う訓練ではなく、自分の思いを外に出す自己表出の支援を

重視します。例えばアイスクリームを選ぶ際も、単に写真から選ばせるのではなく、実際に複数を食べて美味しいという実感を伴ってから選択する体験を積み重ねることが、真の意味での意思決定支援に繋がると説きます。また、二十歳の年金受給前までは家賃を無料にし、食費や光熱費等も低額に抑えることで将来の自立に向けた貯金を可能にするなど、経済面での具体的な配慮も徹底されています。

就労支援の場においては、人に仕事を合わせるという考え方が貫かれています。一般企業のように既存の仕事に人を当てはめるのではなく、工程を徹底的に細分化することで、本人の強みを活かせる環境を再構築します。プロの技術を間近で見られるパンやお菓子の製造現場では、本物の仕事に触れることでやりがいを引き出します。地場産業である馬の牧場の作業では、自閉的傾向のある方のルーティンを大切にする特性が見事に活かされています。かつて名馬キタサンブラックの世話

を担った利用者が、北島三郎氏から贈られたジャンパーを身に纏い、自らの仕事に強い自信と誇りを持つているというエピソードは、働くことが人間としての尊厳そのものであることを象徴しています。

さらに成田氏は、障害のある方が地域で役割を持ち、感謝される仕組み



作りをコミュニティデザインと呼び推進しています。元役場職員や僧侶といった地域に精通した人材をコーディネートとして配置し、農家の規格外野菜等を買収取って地域食堂を通じて、住民と法人の接点を意図的に創出しています。こうした実践は一法人の枠を超え、北海道の就労支援事業所7か所と道外の事業所4か所の広域連携へと発展しています。支援ノウハウの共有や商品の相互流通を行い、お互いの工賃向上とセーフティネットの構築を目指すものです。

働くことは、愛されること、役に立つこと、褒められること、必要とされることという、人の幸せの本質に直結しています。成田氏の語る笑顔の安定供給を目指すマネジメントは、私たちが目指すべき地域共生社会の具体的な指針となるだろうと感じました。

NPO法人苫小牧市手をつなぐ育成会

ワークセンターるーぶ『しんとみ』

サブマネージャー 永峰 章弘

参加者の感想から

○精力的な取組みに刺激を受けました。特に気になったのは、にいかっぶかれっじです。健常者が高校を卒業した後、大学や専門学校に行くのと同じように、就労前に学ぶ場が選択肢としてあるべきだと思います。

○規模の違いはありますが、施設としての取組、実践等大変参考になりました。利用者のやりがい、いきがい、たのしみがい大切に当施設も職員一同支援に生かしていきたいと実感しました。

社会福祉法人釧路愛育協会「鶴が丘学園」での障がい者暴行事件に対する声明を発表 (5/15)

5月21日に釧路市にある障がい者支援施設「鶴が丘学園」の職員が入所者に暴行を行ったとして逮捕された事件に対して、北海道手をつなぐ育成会は声明を発表しました。

声明の中で、安心安全の場であるべき、障がい者の生活の場において、またも虐待が起こったことに対し、障がい者への暴行や虐待がなぜ後を絶たないのか深く憂慮し、このようなことが繰り返されないように、徹底した調査のもとに対策を講じるだけではなく、障がい福祉の現場で働く職員の抜本的な待遇改善を行い、慢性的な人手不足を解消すること、も行政に求めています。さらに、北海道でも就労継続支援A型・B型、生活介護、グループホームといった障がい者の働く場や生活の場が整ってきている一方、株式会社などの参入で営利中心の考えが広がり、障がい者やその家族に寄り添う支援が遠のいている現状もあると指摘しました。このような中で、希望を持って障がい者を支援する職員の働く仕組みが細ってきており、「どんな障がいがあっても地域であたりまえに暮らしたい」という願いの実現は厳しい現状であり、知的障がい者を抱える親は「この子より一日でも長く生きていたい」と、今でも重たい荷物を背負っている現実は変わっていないと述べています。

道育成会は、今後とも長い間社会に沈殿し

てきた障がい者への差別意識をなくすために、『障がい者があたりまえに生き生きと暮らせる社会』ができるまで声をあげ続けていく決意を表明しました。

全文は、道育成会のホームページに掲載しています↓



続報 登別大会

思い出観光〜江戸時代にタイムスリップ
登別伊達時代村 見学と体験

全道大会登別大会の「思い出観光」は、登別伊達時代村に行きます。登別市民会館を出発し、約4時間たつぷり楽しめます。

登別は、伊達政宗で有名な仙台藩の人々が開拓した場所です。「時代村」は、旅人が通る道々街道の両側に、お店や武士のお屋敷、びっくりする仕掛けのある忍者屋敷などが並びます。江戸時代の雰囲気あふれる街並みに、武士や忍者や花魁が現れ、迫力あるアクションや美しく目を引くパフォーマンスが見られます。

また、手裏剣投げや弓矢を体験したり、玉入れゲームや輪投げ、ガラポンくじも楽しめます。



す。コマやこけしストラップ、だるまの絵付け体験もあります(有料)。さらに、日本庭園や忍者資料館、刀資料館もあり、江戸時代好き、侍好きの方は、とっても楽しめると思います。



「忍者ショー」や「花魁ショー」、「ニャンまげコメディ」を建物の中で見ることが出来ます。時間が決まっていますので、見たい人は計画に入れて見学をしましょう。

昼食はみんなで「鳥うどん蒸し」を食べます。せいろで蒸した鶏肉・うどん・野菜を特製のたれにつけて食べる、「時代村」でなければ食べられないメニューです。

参加費は6000円で、先着順で受け付けます。ぜひ登別で江戸時代を楽しんでください。

9月の予定

1日(火) 第2回理事会
19日(土) 事業所協議会全国研修大会(広島)
26日(土) 全道大会登別大会

障害のある方向け 総合保険

あ！それウチかもと思った方！

ぜんちの あんしん保険 障害のある方とそこご家族へ

少額短期健康総合保険(無告知型)2019年創設

- ・病気やケガにしっかり備える
- ・告知や障害者手帳は不要
- ・入院日額最高1万円
- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

入通院の悩み

- ・突然の病気やケガが心配
- ・入院時の出費に備えたい
- ・障害があっても入れる保険を探している

賠償の悩み

- ・パニックになって他の人にケガをさせてしまったらどうしよう
- ・デイサービスでヘルパーさんのメガネを壊してしまった

相談しにくい悩み

- ・虐待や差別を受けた
- ・詐欺に遭わないか心配

ぜんちの こども傷害保険

特別支援教育を必要とされている方へ
権利擁護補償付傷害保険 2019年創設

- ・特別支援教育を必要とされているお子様に
- ・ケガによる入通院を日額保障

- ・権利擁護費用補償
- ・総合生活保険(個人賠償責任補償)で賠償責任を補償(国内は東京海上日動の示談交渉サービス付き)

詳しい資料のご請求・お問い合わせはこちら

25TX-004122(2025年11月作成) 2012-2510R00

ぜんち共済株式会社 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5
関東財務局長(少額短期保険)第14号 九段北325ビル4階

平日9時～17時
土日・祝日・年末年始を除く
URL: <https://www.z-kyosai.com/>

0120-322-150

※このご案内は、保険の概要についてご紹介したものです。契約にあたっては「ご契約に際しての重要事項」「約款」「東京海上日動の『重要事項説明書』」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合は、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。補償を受けられる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

060-0032
北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地
札幌セントラルビル2階
有限会社オフィスブレイン
TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

知的障がい児者・発達障がい児者(自閉症児者を含む)の 生サポは 家族の安心を支えます

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、発達障がい児者(自閉症児者を含む)のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約17万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2025年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事者事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店
〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102
レジディア大通公園2F
TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704
受付時間: 午前9時～午後5時
(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社
<https://www.aig.co.jp/sonpo>
札幌支店
〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F
TEL: 011-204-7510
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご入会のお問合せはこちら

北海道生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階
北海道手をつなぐ育成会内
TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804
受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2026年1月現在の内容です。(D-008145 2026-12)

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002
札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7(4F)
電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804
E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★



元気ショップ いこ〜る

〒060-0806
札幌市北区北6条西4丁目
JR札幌駅西コンコース1階
TEL (011)213-5063
FAX (011)522-8805

元気ショップ「いこ〜る」
は、障がい者事業所の製品
を展示・販売しているアン
テナショップです。みんな
が「平等」で、みんなが「憩
える場」という意味が店名
に込められています。